

香芝生喜病院エコーセミナーを終えて

奈良県西和地域の循環器診療の発展を目指して島田副院長の統括の下、臨床検査室エコー班が中心になって2018年7月から4回シリーズで始めた心エコーハンズオンセミナーも、外部講師や装置メーカー、被検者役を引き受けていただいたボランティアの皆様のご協力もあり、1月26日に最終の第4回を無事に迎えることができました。

西和地域のみならず、奈良市など遠方の開業医の先生方や病院で心エコーを担当している技師の方々が、外部講師の講義を聴講後、5名1班で4班に分かれてその日のテーマに沿った心エコー描出の実技を行いました。回を重ねるごとに上手になり、心エコー検査に自信をつけていく参加者の方々と一緒に過ごす時間は、私たちにとっても充実した時間となりました。



まだ開始時間の10分前なのですが、早く集まった参加者は、菊田先生の雑談を交えながらも「ためになる」お話が聞けます。



毎回、最初の30分間は、その日の実技に必要な座学のレクチャーがあります。手術中の写真を用いての説明など、非常に分かりやすく、習ったことを次の実技の時間に実践します。



講義のあとは5人ずつの班に分かれて講義で聞いたことを実践します。聞いただけでは理解できないことも、聞いてすぐ実践することで身に付きやすくなります。自分の順番以外の時も他の参加者の手元を見たりして勉強に余念がありません。



「そこで反時計方向に回転して！」と超ベテラン技師の指導が飛びます。参加者もその指導に必死についていきます。実技を終えた時には、以前は見えなかった画像が見えるように上達していました。